



取締役頭取

大城勇夫

GREETING ごあいさつ

皆さまには、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2010年度中間ディスクロージャー誌)を作成しました。

平成22年度上半期の国内経済は、エコカー補助金終了前の駆け込み需要や猛暑効果などから個人消費が一時的に上振れしたものの、アジア向けの輸出が鈍化したことなどから、足踏み状態となりました。

県内経済は、建設が補正予算等の政策効果の剥落から引き続き弱含んでいるものの、消費がエコカー減税・補助金や家電エコポイント制度により一部で持ち直し、観光が高校総体の沖縄開催などにより持ち直していることから、下げ止まりの動きがみられました。

当行においては、平成22年4月に「さらなる飛躍に向けた経営基盤の拡充」を経営目標とする中期経営計画「RISING PLAN 2010」をスタートさせ、中期経営計画初年度にあたる平成22年度は、年度目標として「営業・人材・機能革新のスピーディーな実践」を掲げ、チャネルインフラの拡充、個人取引におけるライフプラン営業の展開、法人取引における営業力の強化などに取り組んだほか、中小企業者を中心とした資金繰り支援に積極的に取り組みました。また、平成22年7月には、第一種優先株式(公的優先株式)の取得および消却を実施し、公的資金の返済を完了しました。

当行は、中期経営計画「RISING PLAN 2010」に沿って、コンプライアンス(法令等遵守)を徹底しながら、営業・人材・機能革新を図り、十分なコンサルティング機能の発揮を通して、県内金融機関のリーディングバンクとしての責務を果たし、お客さまからの高い信頼と支持をいただけるよう努めてまいります。

平成23年1月